

平成 26 年 6 月 6 日  
独立行政法人科学技術振興機構 (JST)  
日本・アジア青少年サイエンス交流事業推進室

**JST 「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」 (さくらサイエンスプラン)**

**2,000 人の青少年をアジアから招へい**

**第 1 回公募に日本全国から 316 件の申請**

**招へい希望者は 3,808 人に！**

**6 月 13 日に選定結果を発表、7 月上旬から順次実施へ**

(SSP:さくらサイエンスプラン)

JST (理事長 中村 道治) は、平成 26 年度の新規事業として「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」(さくらサイエンスプラン) をスタートし、その第 1 回目の公募を 5 月 23 日に締め切りました。

この交流事業には、教育機関や地方自治体、財団・社団法人、企業など、日本全国から 316 件の応募があり、招へい希望者は 3,808 人にのびりました。

JST では選定委員会で適切な交流計画を選定し、6 月 13 日 (金) に発表します。

「さくらサイエンスプラン」は、産学官の緊密な連携により、優秀なアジアの青少年が日本を短期に訪問して、科学技術の分野で日本の青少年たちと交流を深めることを目指すものです。

同時に日本の最先端の科学技術への関心を高めることで、日本の大学・研究機関や企業が必要とする海外からの優秀な人材育成に貢献することを目的としています。

対象となるのは、中国、韓国、アセアン諸国などアジア 14 の国・地域の高校生、大学生、大学院生、ポストドクターなどで、原則として初めて来日する 40 歳以下の人です。公募で選定された交流プログラムを通じて、最終的には約 2,000 人のアジアの青少年が日本へ短期間、招へいされる予定です。

**アジアの青少年は 3 つのコースでサイエンス国際交流**

受け入れ機関が行う青少年国際交流プログラムは次の 3 つのコースとなっています。

- (A) 受け入れ機関や他の機関が実施する特別講義への受講、研究室訪問など
- (B) 受け入れ機関での日本の研究者との短期の共同研究活動。大学生、大学院生、ポストドクターなどを対象。
- (C) 受け入れ機関 (自らは教育や科学技術の研究開発活動を行わない地方公

共団体、財団法人、社団法人など) のアレンジによる大学や企業の研究室訪問、科学館 訪問、サイエンスイベントなどへの参加。

なお、今回の公募で選ばれたサイエンス交流プログラムは7月初めから順次実施され、アジアの青少年たちがプログラム日程に合わせて来日する予定です。

\* 「さくらサイエンスプラン」の詳細に関しては、公式ホームページをご参照ください。→ <http://ssp.jst.go.jp/outline/index.html>

この件についての詳しい資料は、電子メールでお送りします。ご希望の方は、下記の電子メールもしくはファクス宛に、電子メールアドレスをお送りください。

[電子メール] [ssp.press@jst.go.jp](mailto:ssp.press@jst.go.jp)

[ファクス] 03-5214-8445

この件についてのお問い合わせは下記にお願い申し上げます。

[担当者] 深澤信之、馬場錬成

[電 話] 03-5214-0095

[F A X] 03-5214-8445

[Eメール] [ssp.press@jst.go.jp](mailto:ssp.press@jst.go.jp)